北海道地方

名前

問1　北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わされていることが特徴です。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 果樹農業
2. 促成栽培
3. 酪農
4. 放牧

問2　北海道の知床半島は世界自然遺産に登録されており、地域の自然環境を保護しながら、その価値を観光客に伝える「エコツーリズム」が推進されています。この取り組みの具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 札幌市で冬の観光振興を目的に行われる、大規模な雪像を展示するさっぽろ雪まつり
2. 旭川市の動物園で見られるような、動物本来の動きを間近で観察できる行動展示の導入
3. 野生動物との接触や植生へのダメージを抑えつつ散策を楽しめる、高架木道の整備
4. ニセコなどのスキー場において、急増する外国人観光客に対応するための多言語表記の充実

問3　北海道の北東側に位置するオホーツク海から、冬に沿岸へ押し寄せ、解ける際に多くの栄養分を海に供給する氷の塊を何というか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 季節風
2. 親潮
3. 流氷
4. 寒流

問4　北海道の旭川市など、内陸部の都市の開発に関連した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 江戸時代に松前藩が交易の拠点として整備し、本州からの商人が集まって形成された
2. 戦後の高度経済成長期に、石炭採掘の拠点としてゼロから建設された
3. アイヌの人々が古くから築いていた大規模な城郭都市を、明治政府が接収して発展させた
4. 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた

問5　1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。
2. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。
3. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。
4. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。

問6　北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。
2. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往来をすべて止めている。
3. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。
4. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。

問7　北海道の石狩平野における大正時代から現代にかけての地形の変化について、統計や地図上の情報を文章で説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。
2. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。
3. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。
4. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。

問8　北海道東部の根釧台地において、稲作ではなく酪農が盛んに行われている理由として、その土地の自然環境について正しく説明しているものはどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 年間を通じて温暖で降水量が少なく、乳牛の病気を防ぐために乾燥した土地を利用する必要があったため
2. 火山灰が堆積した土地で水持ちが悪く、大規模な灌漑施設を整備して水田を開発することが困難であったため
3. 広大な平坦地が広がり、大型機械を用いた大規模な小麦や大豆の栽培に特化した方が効率的であったため
4. 夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であり、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているため

問9　北海道ニセコ町において、飲食業や宿泊業の就業者割合が主な産業の中で最も高くなっている主な理由として、適切なものを選択しなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）

1. 年間を通じて温暖な気候を利用したリゾート開発が進み、国内外からの定住者が急増して一次産業を支えているため。
2. 冬場にスキーなどのウインタースポーツを目的とした外国人観光客が多く宿泊し、観光関連の需要が高まっているため。
3. 豊かな森林資源を活かした木材加工業が発達し、それに伴う作業員の長期滞在用宿泊施設が増加しているため。
4. 夏場に大規模な農作物の収穫体験を行うため、世界中から農家や観光客が集まり宿泊施設を長期間利用するため。

問10　北海道の内陸部に位置する地域の気候の特徴について、ある地点の統計を確認したところ、1月の平均気温がマイナス20度近くまで下がり、年間のすべての月において降水量が100mm未満という非常に少ない数値を示していました。この地域の気候について正しく述べたものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬に雪が多く、年間降水量が2000mmを超える。
2. 季節風の影響で冬の降水量は多いが、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥する。
3. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい北東風の影響を強く受け、夏でも霧が発生しやすい。
4. 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。

問11　日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため
2. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため
3. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため
4. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため

問12　北海道を東西に横断するように、日本海沿岸の石狩平野付近から太平洋沿岸の十勝平野付近までを直線で結んだとき、その区間の地形断面に見られる特徴として最も適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 一箇所だけに孤立した高い火山がそびえており、それ以外の大部分は海抜の低い平坦な土地である。
2. 中央部に大規模な盆地が存在し、東西の両端にのみ険しい山岳地帯が位置している。
3. 全域になだらかな丘陵地が続いており、標高の高い山地は存在しない。
4. 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 酪農	乳牛を飼育して牛乳やバター、チーズなどの原料となる生乳を生産する農業を酪農と呼びます。北海道の根釧台地は、夏に気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であるため、稲作などには向きませんが、牧草の生育に適していることから、自給的な飼料生産を伴う大規模な酪農が発達しました。
問2	答え 3 野生動物との接触や植生へのダメージを抑えつつ散策を楽しめる、高架木道の整備	エコツーリズムは、地域の自然環境や文化の保全と、それらを観光客が体験する活動を両立させる仕組みを指します。知床では、観光客が地面を直接歩くことで高山植物などの植生を傷つけるのを防ぎ、さらにヒグマなどの野生動物との遭遇による事故を避けるために、地面から浮かせて設置された「高架木道」が活用されています。旭川の行動展示は施設の工夫、雪まつりはイベントによる振興、外国語表記はインバウンド対応であり、いずれもエコツーリズムの定義とは異なります。
問3	答え 3 流氷	冬にシベリア方面からオホーツク海を南下してくる氷の塊であり、北海道の沿岸に接岸する現象である。アムール川などからの豊富な栄養分を含んでおり、豊かな生態系を支える要因となっている。親潮（千島海流）は寒流の一種であり、海流そのものを指すため、氷の塊である流氷とは異なる。
問4	答え 4 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた	北海道の内陸部にある旭川などは、明治時代に屯田兵村が設置されたことで本格的な開発が始まりました。屯田兵は平時は土地を耕して農業に従事し、有事の際には兵士として活動する役割を担っており、計画的な区画整理によって現在の都市の原型が作られました。
問5	答え 4 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。	かつての北海道を支えた炭鉱などのエネルギー産業が衰退したことで、それらの地域から人口が流出し、代わって第3次産業（サービス業や小売業）が成長した札幌市に人口が吸収されました。このように、特定の都市に人口や経済機能が突出して集まる現象は、地方における一極集中の典型的な事例として挙げられます。札幌市の人口規模は1950年代の数倍に達しており、北海道の総人口の約3割から4割近くを占めるに至っています。
問6	答え 3 シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。	流氷はシベリア沿岸で発生し、海流に乗ってオホーツク海を南下して北海道の北東岸に到達します。かつては漁船の出港を妨げるなどの負の側面が強調されましたが、現在では砕氷船（ガリンコ号やオーロラ号）による観光や、流氷とともにやってくるクリオネなどの観察といった観光資源としての側面が重視されています。他の選択肢にある冷害の原因は主に夏の「やませ」などであり、流氷の性質とは異なります。
問7	答え 2 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。	大正時代などの古い地図に見られる石狩平野は、河川が激しく蛇行し、土地の多くが湿地で橋も少ない状態でした。しかし、現代の状況を示す資料では、治水工事によって流路が直線的に整えられています。これに合わせて、開拓を効率的に進めるために土地が碁盤目状に区画整理され、道路網の整備とともに、分断されていた地域を繋ぐ数多くの橋が架けられるなど、土地利用が高度化しました。
問8	答え 4 夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であり、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているため	根釧台地などの北海道東部は、夏に千島海流（親潮）の上を通る湿った空気が冷やされて「移流霧（海霧）」が発生し、日照不足と低温をもたらします。この気候は稲作には不向きですが、寒冷な気候でも育つ牧草の生産には適しています。そのため、その牧草を飼料として乳牛を育てる酪農が、地域の特色ある産業として定着しました。
問9	答え 2 冬場にスキーなどのウインタースポーツを目的とした外国人観光客が多く宿泊し、観光関連の需要が高まっているため。	ニセコ町は世界的なスキーリゾートとして知られており、冬の時期に外国人観光客の宿泊が集中します。観光客の受け入れやサービス提供に伴い、飲食業や宿泊業の雇用が大きく創出されるため、就業者割合で最も高い割合を示すようになります。
問10	答え 4 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。	北海道の内陸部は、海から遠く離れているために海による気温調節機能が働かず、放射冷却現象などの影響で冬の気温が極端に低くなります。また、周囲を山々に囲まれていることから、海からの湿った空気が入り込みにくく、日本海側などの沿岸部と比較しても年間降水量が少なくなるのが特徴です。
問11	答え 1 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため	北海道は日本の総面積の約22%を占めるほど広大であり、札幌や函館、旭川、釧路といった主要都市間の距離が非常に離れています。そのため、移動時間を短縮し、迅速な物流や人流を確保するために、道内各地に多くの空港が整備されました。また、2016年には北海道新幹線が開通したことで、現在は空路だけでなく、新幹線による陸路での本州との接続も強化されています。
問12	答え 4 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。	北海道の中央部には「北海道の屋根」とも呼ばれる大雪山系などの険しい山々が南北に走っています。そのため、石狩平野（西側）から十勝平野（東側）へ向かう断面で見ると、中央付近で標高が2000m近くまで急激に高くなり、両端が低地になるという地形的特徴を示します。